

# 『今、なぜコーヌス義歯再考なのか？』

最新の研究からメタルフリー(ジルコニア内外冠)コーヌス義歯の可能性  
その臨床応用について

～超高齢化社会に備えるべく包括的かつ有効的な補綴治療の一考～

2019

会場 大阪歯科大学創立100周年記念館

時間 10:00 ～ 16:00

12/15日

4名の講師によるリレー形式！

コーヌス義歯は、シンプルな構造でありながらも歯科医師と歯科技工士の連携が求められ、かつ技工操作においても難易度の高いテレスコープのひとつとされています。

そのようなコーヌス義歯が今、見直されています。要素としては、長期的な観点において、口腔内の変化に対応できることが挙げられるのではないのでしょうか。キーワードは、『修復から保全へ』保全の全は完全の全と安全の全を意味します。

外科的な手術は必要ありませんし、口腔内の変化によって義歯の修理が可能。さらに、長期間口腔内で機能できる欠損補綴装置です。そこで今回、4名の先生方に、現在までの臨床と、メタルフリーを目指した研究の観点から、それぞれお話をさせていただきます。

ご参加の先生方の臨床の幅を広げていただければと思います。

## 4名の演者による講演会

田中昌博先生



主任教授  
大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座

鳥井克典先生



講師

森本 剛先生



認定産業歯科医  
顎咬合学会指導医  
大阪府開業

先田寛志先生



ナチュラルクリニック  
OSAKA 大阪府開業

### コーヌス義歯の主な特徴

- ◎メタルクラスプの不使用により審美的である
- ◎自然な噛み心地が得られるリジットサポート
- ◎残存歯の保護ができる
- ◎修理も可能で長期間口腔内で機能できる



コーヌス義歯

〔お申込み・お問い合わせ先〕

 和田精密歯研株式会社  
Wada Precision Dental Laboratories Co., Ltd.

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6丁目1-41 大阪営業所

TEL: 06-6321-2101 FAX: 06-6321-6652

URL: <http://www.labowada.co.jp> E-mail: [osaka-eigyuu@labowada.co.jp](mailto:osaka-eigyuu@labowada.co.jp)